

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年9月23日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年9月23日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【新事務本館周辺の安全通路設置工事における外灯電源ケーブルの損傷について】 9月15日、協力企業作業員が、新事務本館周辺の安全通路設置工事にて、作業エリアの片付け・清掃を実施していたところ、外灯電源用の電線管に損傷があることを発見し、当社へ連絡。 9月16日、当該企業にて、新事務本館北側外灯2箇所の不点灯を確認。当該電線管に布設されているケーブルの絶縁抵抗測定・分電盤内のブレーカーを確認した結果から、当社にてケーブルに損傷があると判断。 9月9日に当該企業にて損傷箇所周辺の根巻きコンクリート部の除去作業を実施しており、その際に使用した電動チップパーの刃が滑って当該電線管およびケーブルを損傷したと推定。(作業終了時、損傷箇所未確認) 応急処置として、仮設ケーブルにて接続し、外灯2箇所の点灯を確認済み。 今後、原因調査結果により、対策を検討。</p> <p>電動チップパー: 金属やコンクリートを加工する工具</p>	GⅢ	9月15日